

## 圏外のアンテナ

[あの頃のアディダス]の巻

前世紀の終わり頃（何て大げさな書き出し！）、仕事にはいつも、アディダスのジャージ・ワンピースと、高いヒールの靴で出かけた。

アムラーというほどではなかったが、安室ちゃんがカッコ良く着こなしているのを見て、真似したのだ。腕に3本ストライプの入った前開きのやつ。赤、黒、赤&黒、ピンク、紫、グリーン  
の6色を着回した。

驚いたのは、この格好に変えたら、周りの態度がコロッと変わったこと。仕事仲間はもちろん、駅でもお店でも、なぜか皆、対応が気安くなって、日常を居心地よく感じた。

そんなある日、仕事の打ち上げがあって、クライアントの宣伝部長に、由緒ある銀座のクラブに連れて行かれた。

楽しい宴が終わる頃、わたしは店のママから、あとで話があると耳打ちされた。

皆が帰ると「あなた、なぜそんな格好で来たの？」と、美人のママに睨まれた。「トレードマークなんですよ」と説明したが、彼女は「お世話になっている部長さんの前で、ジャージは失礼よ」の一点張り。

社会常識にあふれた銀座のママから叱られることが、妙に嬉しかった記憶がある。

「世間知らずなこの女に説教しなきゃ！」と思わせるだけの常識破りのブランド力が、多分、あの頃のアディダスにはあったのだ。

その後、アディダスは、外国人観光客の制服のようになって、いつの間にかわたしの熱も冷めてしまった。

10数年が流れて…。昨今、3本ストライプのブームが再燃している。先日、面白半分で、撮影スタジオに、昔のパーカーを引っかけて行ってみると、後輩の20代女子が「買ったんですか？いいなあ～」と言って、ウハウハと近寄ってきた。

（20年前のアディダスだとも知らずに！）

ナイキでも、プーマでもなく、わたしはアディダス。

好きなブランドは時々、タイムマシンの役割をする。

=2019年12月27日掲載=



一瞬、後輩の目を釘付けにした、20年前のアディダス